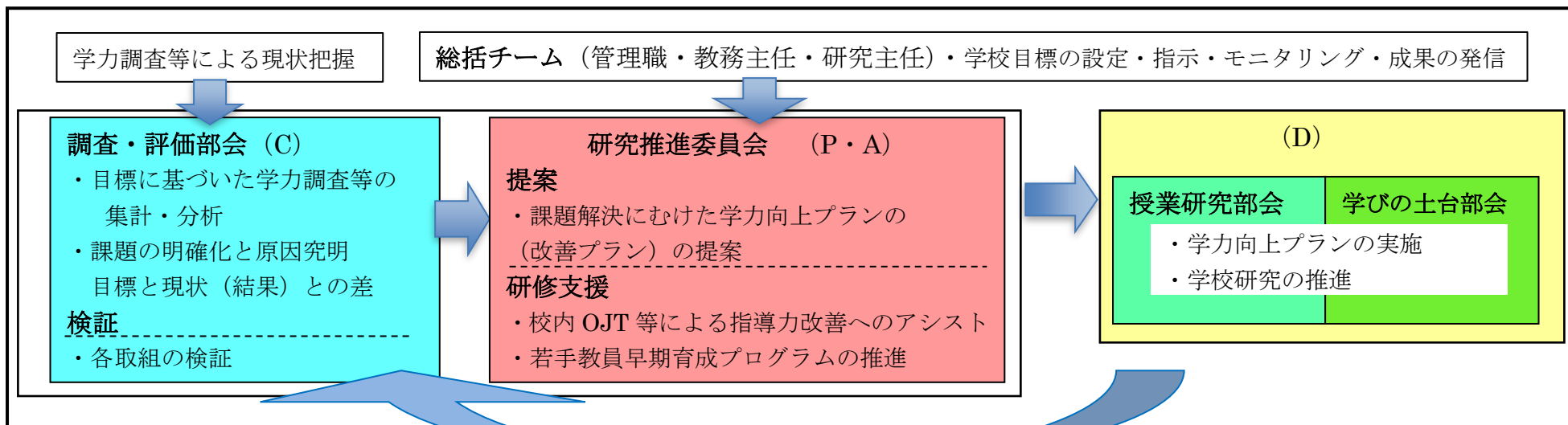


＜鹿西小学校学力向上ロードマップ＞



鹿西小学校 めざすゴール		
	学力向上プラン	指導力向上プラン
令和8年度 長期目標	各種調査問題（活用力・漢字計算テスト）で通過率 活用78% 漢字計算82% 以上 「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ」 「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている」 （友達と交流し、自分の考えを深めたり新たな考え方に気付いたりする／学習をふり返り、分かった・分からなかった点を見直し、次の学習につなげる等） 意識調査において「肯定的に回答する児童・教師」93% 以上	
中期目標 1学期①	活用問題 通過率 抽出問題にて 66%以上 漢字計算テスト 到達度調査 75%以上	活用問題 通過率 抽出問題にて 66%以上 漢字計算テスト 到達度調査 75%以上
2学期②	活用問題 通過率 抽出問題にて 70%以上 漢字計算テスト 到達度調査 80%以上	活用問題 通過率 抽出問題にて 70%以上 漢字計算テスト 到達度調査 80%以上
3学期③	活用問題 通過率 抽出問題にて 75%以上 漢字計算テスト 到達度調査 85%以上	活用問題 通過率 抽出問題にて 75%以上 漢字計算テスト 到達度調査 85%以上
短期目標	毎月の取組の共通実践（92%）（学力向上ロードマップでチェック） （授業実践 学期に1回単元デザインシートをもとに、相互授業参観実施）	

【ロードマップ】

月	学力向上関係行事等	総括 ◎学校長 教頭	C 調査・評価部会 ◎教務主任（岡田） （板谷） （松中）		P A 研究推進委員会 ◎研究主任（室屋） 研究副主任（山本麻） 教務（岡田） 指導力向上（中村） 学力向上（上田）		D 授業研究部会 ◎指導力向上担当（山本麻） （中村，岩田，高田）	D 学びの土台部会 ◎学力向上担当（上田） （北野，山本真，三宅）	全員
			集計・分析 （岡田・松中）	検証 （板谷）	研修支援 若プロ推進 （岡田）	学力向上 授業研究 （山本麻）	学びの土台 （上田）	授業研究・指導力向上 （山本麻，中村，岩田，高田）	
4	【前年度】児童の実態 研究成果と課題 各調査結果		成果 ・単元ゴールを目指し、児童に委ねる時間（ロックタイム）の活用することによって、学習に自ら取り組む児童が増えた。 課題 ・ロックタイムは児童が自ら動く姿が増えたが、授業全体を児童が動かせるようになる力がついたらとは言えない。	学力向上ロードマップの提案 校内研修会 要請訪問計画 若プロ計画 RM部会	パワーアップ集会の企画 学習ルール案周知	指導案・単元デザインシートの活用・推進 授業の取り組みや学習目標に関するパワーアップ集会の企画・運営・周知 異学年交流や相互授業参観、シャッフル道徳の計画・推進	学習ルールの定着 漢字計算の力の定着 スキルタイム・家庭学習で基礎学力定着 基本的な生活習慣・学習習慣の確立	前期学力向上プラン共通実践 対策に応じた評価規準の見直し・改善	
			R8版 前期学力向上プラン 【授業での取組】 1. 自ら学ぶ「単元デザイン」 単元の導入で児童とゴールの姿と取り組む内容を共有し、授業の終末や単元末でゴールに近づいたか、自分の学び方かどうかをふり返る。 ・導入…単元のゴールや共通の軸を児童と共有 ・展開…自己決定の場・個別最適な学び・協働的な学び ・終末…単元のふり返り 検証方法★2・3・4・5 2. 1時間の授業の中やまとまりのある授業の中で他者と交流して課題解決につなぐ「ロックタイム」 ・「ロックタイム」の学び方の姿や「聴く姿」についてパワーアップ集会で全校児童と共有 ・「異学年交流」「相互授業参観」「シャッフル道徳」で児童自身が取り組みを交流 検証方法★2・3・4・5		【授業以外で取組（基盤づくり）】 ★学びに向かう姿勢作り ・ロックタイムや学習ルール「聴く・引き出す・話す」の共通実践 →パワーアップ集会でモデルを示す 検証方法★2・3・4・5 ★漢字・計算の力を定着 ・スキルタイムを活用し、基礎の力をつける ・学期末に一回限定全校で確認テストを行う 検証方法★1				
5	研究主任連絡協議会	取組状況モニタリング	授業整理会の準備・運営 各学力調査処理・分析（課題発見）（原因究明）→共通理解 鹿西っ子アンケート内容検討→実施	若プロタイム① 若プロの日① RM部会 要請訪問① 提案授業（5年室屋：国語） 月末校内研修会	授業スタイル等、授業の進め方提案 指導案の書き方・授業整理会のあり方提案 単元デザインシートとロックタイム（詳細）について提案	学習目標の周知・状況把握 →児童への啓発・到達度チェック 単元デザインシート作成周知 相互授業参観	学習ルールの定着の確認 スキルタイムの取組確認 →どんブリの活用推進 基本的な生活習慣・学習習慣の取組スタート 漢字・計算の取組確認		

6	計画訪問	取組状況 モニタリング	授業整理会の準備・運営 前期プラン成果状況検証 (検証準備) ★1活用問題 ★2授業モニタリング ★3児童アンケート ★4教員アンケート ★5児童のふり返り	若プロタイム② 若プロの日② RM 部会 月末校内研修会	前期学力向上プランの 検証方法の確認 役割明確化シートによる 進捗状況の確認 単元デザインシートと 指導案検討会 授業参観シートとふり 返り	学習目標の周知・状況把握 →児童への啓発・到達度チェック 授業の取り組みに関するパワーア ップ集会の実施 単元デザインシート作成	学習ルールの定着の確認 スキルタイムの取組確認 →どんブリの活用推進 基本的な生活習慣・学習習慣の取組 の確認 漢字・計算の取組確認
7	県基礎学 力調査結 果公表	取組状況 モニタリング	授業整理会の準備・運営 データ 処理・分析 課題発見 原因究明	鹿西っ子 アンケート 集計・検証	若プロタイム③ 若プロの日③ RM 部会 要請訪問② (5年岩田：算数)	1 サイクル目の進捗状 況の確認・検討 学習目標の周知・状況把握 →児童への啓発・到達度チェック 授業の取り組みに関するパワーア ップ集会の実施 シャフル道徳→ふり返り	学習ルールの定着の確認 スキルタイムの取組確認 基本的な生活習慣・学習習慣の取組 →長期休暇中の取組について 漢字・計算(1学期分)確認テスト 実施→達成度確認
<p>前期プランの検証の概略</p> <p>1 サイクル目の検証結果</p>							
8			データ処 理・分析 課題発見 原因究明	前期学力向 上プラン成 果状況検証	OJT RM 部会	校内研修全体会 (2学期の授業づくりについて確認) パワーアップ集会の企画・運営 (ふり返り)	前期取組の検証 夏休み家庭学習の実態把握 前期取組の検証
<p>後期学力向上プラン提案 【前期学力向上プランの継続 + 後期学力向上プラン】</p> <p>1 サイクル目の検証結果</p>							
9		学校目標 長期・2学 期②の確認 教員モニタ リング		2 サイクル目 分析・検証方 法を設定	RM 部会 若プロの日④ 要請訪問③ (3年岡田：社会) 要請訪問④ (1年山本：算数)	学習目標の周知・状況把握 →児童への啓発・到達度チェック 授業の取り組みに関するパワーア ップ集会の実施 単元デザインシート作成	学習ルールの定着の確認 スキルタイムの取組確認 基本的な生活習慣・学習習慣の取組
10			第2回鹿西 っ子学習ア ンケート実 施・集計	課題発見 原因究明 (鹿西っ子 アンケート)	RM 部会 若プロの日⑤ 要請訪問⑤ ハートフル (2年高田：自立) 要請訪問⑥ (4年上田：国語)	後期学力向上プランの 検証方法の確認 スキルタイム改善案 評価問題対策提案	学習目標の周知・状況把握 →児童への啓発・到達度チェック 授業の取り組みに関するパワーア ップ集会の実施 単元デザインシート作成
11					要請訪問⑦ ハートフル (356年三宅：国語) 要請訪問⑧ (6年板谷：音楽) 要請訪問⑨ (3年松中：算数)	スキルタイム見直し期間 (T/T・習熟度別)	学習目標の周知・状況把握 →児童への啓発・到達度チェック 授業の取り組みに関するパワーア ップ集会の実施 授業の実施→ふり返り
<p>後期プランの検証の概略</p> <p>2 サイクル目の検証結果</p>							
12	評価問題 I 中能登町 学力テスト		採点集計 データ処 理・分析 校内活用問 題実施・集 計 データ処 理・分析 (町テスト)	課題発見 原因究明 (鹿西っ子 アンケート) 課題発見 原因究明 (評価問題I) (町テスト)	RM 部会 若プロの日⑥	学習目標の周知・状況把握 →児童への啓発・到達度チェック 授業の取り組みに関するパワーア ップ集会の実施 冬季休業中課題の提案	学習ルールの定着の確認 基本的な生活習慣・学習習慣の取組 →長期休暇中の取組について 漢字・計算(2学期分)確認テスト
<p>R.8版 短期学力向上プラン提案【前期学力向上プランの継続 + 後期学力向上プラン】</p> <p>2 サイクル目の検証結果</p>							
1		学校目標 長期・3学 期③の確認 教員モニタ リング			RM 部会 若プロの日⑦ 要請訪問⑩ (5年山本：理科)	学習目標・規律の定着への取組 パワーアップ集会の企画・運営 公開授業記録(ICT活用含む)の回 収・実施確認・還元	学習ルールの定着の確認 スキルタイムの取組確認 基本的な生活習慣・学習習慣の取組
2			採点集計 データ処 理・分析 (評価問題 I)	鹿西っ子ア ンケート	RM 部会 若プロの日⑧	校内研修全体会 (次年度の主題等の確 認) 学習目標の周知・状況把握 →児童への啓発・到達度チェック 授業の取り組みに関するパワーア ップ集会の実施 単元デザインシート作成後、教師 による相互授業参観の実施	学習ルールの定着の確認 基本的な生活習慣・学習習慣の取組 漢字・計算(3学期分)確認テスト
3		次年度 学校目標 の方向性			RM 部会 若プロの日⑨	年度末課題の提案 後期取組の検証 次年度プランの方向性の見当	後期取組の検証 次年度プランの 方向性の見当 後期取組の検 証 次年度プラン の方向性の見 当
<p>次年度学力向上プランの方向性の提示</p>							

※集計・分析・検証の欄の★番号(分析方法)と検証の概略の★番号(分析した結果)が対応

短期学力向上共通実践